

令和7年5月16日

地域密着型サービス 運営推進会議 報告書

施設名：グループホーム ひなたぼっこ・向横田

施設種類：認知症対応型共同生活介護

会議開催日時：令和7年5月16日（金）

開催場所：ひなたぼっこ・向横田

出席者

（人数）

利用者	0人	知見を有する者等	1人
利用者家族	0人	地域包括支援センター職員	0人
地域住民の代表	1人	益田市職員	1人
その他（代表者、管理者、施設職員等）			6人

【行政からの連絡事項】

- ・福祉環境部内に総合支援課の新設。成年後見制度、虐待、重層的支援体制整備事業ひきこもり。

ホームの近況・取り組み（令和7年3月21日～令和7年5月15日）

【入居者状況】

- ・入居者 9名（女性 9名）
- ・入退去 あり
- ・平均年齢 87.4歳
- ・平均介護度 1.4
（介護度1～5名 介護度2～4名）
- ・入院 あり

【活動状況】

調理、洗濯干し、洗濯たたみ、散髪、各主治医往診、
ドライブ(益田市内、ゴミ捨て)、歌(嚙下体操)、早口言葉、名前書き、散歩、マッサー
ージ、テレビ体操、お盆拭き、足上げ運動、立ち上がり運動、牛乳パック切り・束
ねる、トランプ、袋たたみ、落とし紙折り、台拭き、足のマッサージ、塗り絵、シー
ツ交換、ネーム貼り、家族様と電話で交流、新聞折り、読書、書き写し、メモ帳切
り、新聞ゴミ箱折り、紙ちぎり、紙切り、廊下往復、指体操、散髪、つばめよけ作
り、口腔体操、面会、ゴミ捨て、モップかけ、居室掃除、廊下掃除、居間掃除、布
切り、布たたみ、縫い物、日光浴、電話、荷物運び、食器洗い、包装紙たたみ、ペ
ーパーたたみ、利用者様同士の団らん、お経、じゃんけん、外泊、外出

家族・地域との関係

- ・日頃から散歩で出会うと声をかけてくださる。新聞紙を頂く。
- ・電話でのやりとりを行う。
- ・面会、外泊の実施
 - ＊研修（内部） 苦情解決
 - ＊研修（外部）

苦情解決…日頃からの連絡を密に行っていくことが重要。苦情があったとしても受け止めながら、後出しではなく先にこちらから伝えていくよう心掛けている。家族アンケートや本社へ言われることがほとんどではあるが、市に直接言われる家族様もおられた。解決に向けてホーム、本社とで協力し対応を行った。

ヒヤリハット 事故報告

- 2件あり
- ・タンスを開けようとして転倒
 - ・少しつまずいて膝をつかれる

近い所であればすぐに分かるが、居室内で起こったもので、自分で動かれる方でもあった。落ち着きない動きなど日頃からの状況もあり、危険だという認識もないため言葉での声かけも難しく、抑制が効かない中での状況だった。

その他

有識者より

- ・センサーみたいなものは？

ホームより

- ・ここではそういったものはないです。家庭的な雰囲気といったところでもあり、そこまで制限してまでのところでもあります。

※水害について

地域住民より

- ・梅雨に入るのが今年は早目ということ。雨量が多そうな予想。
火災や地震と違って雨は前もって分かるので、気象情報などを確認していつでも避難できる心構えを持つ事が大事だと思います。

ホームより

- ・避難先との連絡もそうですが、事前の避難ができるのかどうかも確認していかなければと。

地域住民より

- ・夜間に避難するのは本当に危ないですからね。ただ、避難も半分以上ができていないのが実際のところ。どのタイミングでするのか、状況の判断をしていくのは本当に難しいと思います。避難先でも一時避難や数日に渡る場合の指定避難場所なのかも変わってくると思います。

ホームでの避難先は自動車学校にしているが、一時避難だけになっており、もし数日

避難となればまた状況が変わってくることが分かった。地域住民の方より、石見空港での避難が以前はできたと思うとの話を受け、連合自治会の田原様へ連絡し確認してみましようと言ってくる。

有識者より

- ・豊田公民館が移転することとなりました。移転候補があり今話し合っている所で、横田中学校の使えなくなった土地（駐輪場など）が候補としてあがっています。

地域住民より

- ・付近の土手や道路などにハミがいるので気を付けてください。あれは近づいても逃げないので。

ホームより

- ・以前は熊も出て一時期散歩は控えていましたが、暖かくなって散歩も出るようになったのでまた気を付けていきたいと思います。

市役所より

- ・水害についての話がありましたが、また何か情報提供あればお知らせ下さい。